



▲お店の地図などが掲載されている「安曇野スタイルガイドブック」。市観光協会などで入手できます。



▲左から、藤田・古根・星野・津野（敬称略）

安曇野☆きらりびと
Interview
Vol. 4

安曇野スタイルを 交流の懸け橋に

安曇野スタイル2022参加作家

陶芸家 藤田千絵子さん 友禅染色作家 古根香さん 家具工芸作家 星野秀太郎さん カフェ経営 津野身和子さん

安曇野スタイルの大きな特長の一つは、安曇野在住の作家がメインで、そのアトリエを公開しているところ。だからこそ、来場

道のりを楽しむ

安曇野スタイルは、作家のアトリエに地元の人から立ち寄り、県外から泊りがけでガイドブック片手に訪れるなど、自由に見たいところを巡ることができ、その魅力の一つです。ここ数年のコロナ禍で人と人の交流が途絶えてしまう時期がありました。またSNSが普及し、コミュニケーションがとりやすくなる一方、実際に会って話すことが特別な意味を持つようになっていきました。安曇野スタイルが人と人との特別な出会いの場になればいいなと思います。

地図を片手に、ひともの巡り。

ゆるやかな 報交換、交流の場となり、対等です。

「ひともの」とのリアルな出会い。安曇野スタイルは、作家のアトリエに地元の人から立ち寄り、県外から泊りがけでガイドブック片手に訪れるなど、自由に見たいところを巡ることができ、その魅力の一つです。ここ数年のコロナ禍で人と人の交流が途絶えてしまう時期がありました。またSNSが普及し、コミュニケーションがとりやすくなる一方、実際に会って話すことが特別な意味を持つようになっていきました。安曇野スタイルが人と人との特別な出会いの場になればいいなと思います。

安曇野の魅力を発信したい

普段、出展者同士が交流する機会が少ないといえますが、このイベントが情報交換、交流の場となり、対等です。横のつながりが広がっています。名の知れた作家の作品、趣味が高じて制作した作品など、さまざまな作品を見て楽しみ、来場者同士が互いに楽しめる空間が、安曇野の魅力の一つです。

Memo 「安曇野スタイル2022」11月3日（木）～11月6日（日）に開催

安曇野スタイルは、2004年から11月3日の文化の日を中心にイベントが始まり、今年で17回目。開催場所は安曇野市、池田町、松川村。安曇野で活躍する個性豊かな出展者の「ライフスタイル」を紹介し、作品とともに安曇野を発信している。詳しくは、安曇野スタイルネットワーク実行委員会 azuminostyle.nw@gmail.comまで



今年は約70の店舗が参加しています。▶

平和の種まく「被爆ピアノ」の音色

9/24～28 平和都市宣言10周年記念事業

77年前に被爆したピアノを使った平和祈念コンサートが9月25日、穂高交流学習センター「みらい」で開かれました。ピアノを修復したのは調律師の矢川光則さん。広島市に生まれ、使われなくなったピアノを修復し、施設に贈る活動の中で「被爆ピアノ」に出会い、全国各地にその音色を届けています。

コンサートでは、元宝塚劇団所属で歌手のまほろば遊さん、ピアニストの川添由梨香さんが歌と演奏を披露。約140人の来場者が平和の尊さに思いをはせながら、その音色に聞き入りました。また、広島平和記念式典に参加した中学生らが、市平和都市宣言の朗読を行いました。矢川さんは「人それぞれに平和の伝え方がある。無理のない形で伝え続け、種をまいていきたい」と平和を語り継ぐことの大切さを語りました。

この事業は、安曇野市平和都市宣言制定10周年の記念事業として企画したもので、市内中学校や市役所ロビーでもコンサートが開かれました。



水資源や自然保護の大切さ楽しく学ぶ

10/8.9 安曇野環境フェア2022

4年ぶりとなる安曇野環境フェアが穂高会館で開催され、アリーナでは市民団体や企業など44団体がパネル展示や体験コーナーを出展しました。今回のテーマは「知ろう 守ろう あづみ野の水」。9日にはペットボトルろ過装置を作る体験教室が開かれ、15組の親子が安曇野の地下水は天然のろ過によっておいしい水になっていることや自然保護の大切さを学びました。塩尻市から母親と体験した下村琢磨くん（7歳）は「汚れた水がきれいになってすごいと思った。水を大切にしたい」と話してくれました。

講堂では、市内に出没する獣を通して里山の魅力に触れる「さとぶろ。けもの塾」も開かれ、来場者はシカの角の展示や、空気銃の射撃などを体験していました。

